

ヒヤリ・ハット報告書

氏名：

会社名：

いつ 年 月 日 (月) 時 分 頃

どこで？

現場の置場で

だれが？

自分が

何をした？ ペンキの一斗缶をトラックの荷台から降ろそうとした時
手から滑って足下付近に落ちた

どういう問題があったか？

自分が考えている重さよりも重かった

環境 設備 作業方法

今後どうすれば回避できるか？

安全確認をしてから行動する

心理分析

- | | |
|----------------|------------|
| 1. よく見えなかった | 2. 気づかなかった |
| 3. 忘れていた | 4. 知らなかった |
| 5. 深く考えなかった | 6. 大丈夫と思った |
| 7. 無意識に手が動いた | 8. やりにくかった |
| 9. 体のバランスを崩した | 10. あわてていた |
| 11. 不愉快なことがあった | 12. 疲れていた |
| 13. その他 | |

上司のコメント

周囲の安全確認を徹底しましょう

対策 実施 (要 ・ 否) 期限 年 月 日迄 チェック者

会社名		報告年月	年	月	日
-----	--	------	---	---	---

危険有害要因監査結果表

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、

新型コロナウイルスの予防

です。

危険有害要因を排除するために、以下の防止策を設定し、監視しました。

手洗い・うがいの徹底、マスク着用の徹底、三密を避ける

監査結果

危険有害要因を

防止できました。

防止できませんでした。



防止できなかった場合

発生事例
どうすれば防止できたか
今度どのようにしますか

危険有害要因監査特定表

当月、当社で監視する危険有害要因は、以下の通りです。

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	熱中症対策	水分、塩分等の補給をする	長時間の外作業はさらなる注意が必要なため

ヒヤリ・ハット報告書

氏名：

会社名：

いつ 年 月 日 (月) 時 分 頃

どこで? 現場で

だれが?

自分が

何をした?

D20P(ブルドーザー)運転中に手元作業員と接触しそうになった

どういう問題があったか?

人と機械の分離が十分にできていなかった
後退時の後方確認が十分ではなかった

環境 設備 作業方法

今後どうすれば回避できるか?

区画を分離、監視人の配置を徹底する

心理分析

- | | |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> 1. よく見えなかった | <input checked="" type="radio"/> 2. 気づかなかった |
| <input checked="" type="radio"/> 3. 忘れていた | 4. 知らなかった |
| 5. 深く考えなかった | 6. 大丈夫と思った |
| 7. 無意識に手が動いた | 8. やりにくかった |
| 9. 体のバランスを崩した | 10. あわてていた |
| 11. 不愉快なことがあった | 12. 疲れていた |
| 13. その他 | |

上司のコメント

ブルドーザーの使用時は手元作業員の配置をせず
監視人のみを置いて作業すること

対策 実施(要・否) 期限 年 月 日迄 チェック者

会社名		報告年月	年	月	日
-----	--	------	---	---	---

危険有害要因監査結果表

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、

第三者災害	です。
-------	-----

危険有害要因を排除するために、以下の防止策を設定し、監視しました。

区画の徹底、誘導監視人の配置

監査結果

危険有害要因を

防止できました。

防止できませんでした。



防止できなかった場合

発生事例
どうすれば防止できたか
今度どのようにしますか

危険有害要因監査特定表

当月、当社で監視する危険有害要因は、以下の通りです。

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	重機と人の接触	重機使用時の ルール徹底	大型の機械が常時 稼働する現場が 増えるため

ヒヤリ・ハット報告書

氏名：

会社名：

いつ 年 月 日 (月) 時 分 頃

どこで？

現場内

だれが？

作業員が

何をした？

背面に壁を掘った状態で切断中挟まりそうになった

どういう問題があったか？

狭いところを無理して切断しようとした

環境 設備 作業方法

今後どうすれば回避できるか？

作業するときには体は逃して挟まれない様にする

心理分析

- | | |
|----------------|------------|
| 1. よく見えなかった | 2. 気づかなかった |
| 3. 忘れていた | 4. 知らなかった |
| 5. 深く考えなかった | 6. 大丈夫と思った |
| 7. 無意識に手が動いた | 8. やりにくかった |
| 9. 体のバランスを崩した | 10. あわてていた |
| 11. 不愉快なことがあった | 12. 疲れていた |
| 13. その他 | |

上司のコメント

無理はしない、最悪の事態を想定して体は避けられるようにする

対策 実施 (要 ・ 否) 期限 年 月 日迄 チェック者

会社名		報告年月	年	月	日
-----	--	------	---	---	---

危険有害要因監査結果表

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、

熱中症

です。

危険有害要因を排除するために、以下の防止策を設定し、監視しました。

こまめな休憩と水分補給

監査結果

危険有害要因を

防止できました。

防止できませんでした。



防止できなかった場合

発生事例

どうすれば防止できたか

今度どのようにしますか

危険有害要因監査特定表

当月、当社で監視する危険有害要因は、以下の通りです。

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	前月同様 熱中症対策	同様	東京都内で多数の死者が出ているため

ヒヤリ・ハット報告書

氏名：

会社名：

いつ 年 月 日 (月) 時 分 頃

どこで？

現場内で

だれが？

作業員が

何をした？

熱中症になりかけた

どういう問題があったか？

作業員への体調確認不足、休憩管理不足

環境 設備 作業方法

今後どうすれば回避できるか？

細かく体調の確認と水分補給をさせ、午後は30分単位での休憩をとる

心理分析

- | | |
|----------------|------------|
| 1. よく見えなかった | 2. 気づかなかった |
| 3. 忘れていた | 4. 知らなかった |
| 5. 深く考えなかった | 6. 大丈夫と思った |
| 7. 無意識に手が動いた | 8. やりにくかった |
| 9. 体のバランスを崩した | 10. あわてていた |
| 11. 不愉快なことがあった | 12. 疲れていた |
| 13. その他 | |

上司のコメント

午前と午後では気温も疲れの度合いも違います
必ずこまめな休憩と水分補給の徹底を！

対策 実施(要・否) 期限 年 月 日迄 チェック者

会社名		報告年月	年	月	日
-----	--	------	---	---	---

危険有害要因監査結果表

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、

です。

危険有害要因を排除するために、以下の防止策を設定し、監視しました。

監査結果

危険有害要因を

防止できました。

防止できませんでした。



防止できなかった場合

発生事例
どうすれば防止できたか
今度どのようにしますか

危険有害要因監査特定表

当月、当社で監視する危険有害要因は、以下の通りです。

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	熱中症による事故	水分補給とこまめな休憩の徹底	夏場で一番発生率が高く、他の事故へとつながるため